

令和二年度卒業論文題目 (氏名 論文題目)

【卒業論文】

〔藤本ゼミ〕 日本語学

稲垣 沙弥香 「死ぬ」の中古・中世における用法

山下 愛実 過去を表すアトの発生と衰退

〔灰谷ゼミ〕 日本語学

井崎 凌太 九州北部三県域方言における義務的表現「くしなれば」の機能

越智 紘人 作 「言語の無根拠性」をテーマとした創作

小野 里佳子 大分市方言のアスペクト形式「チョン」

海内 彩里 備後地方における若年層の方言評価についての研究

佐藤 駿人 糸魚川方言における勧誘表現「マイ」の研究

武田 奈美 談話における一人称明示の意味と機能

前川 清風 播磨方言における「のだ」表現の形態と機能

山根 麻由 関係性と命題内容からみた間接的行為

LIM JIT FOONG 要求のバリエーションについての研究

紛失を表す「しまった」と「やった」の違いについての研究

和田 七音 大阪方言におけるネンヤンの形態と機能

〔藤川ゼミ〕 中古文学 中世文学

藤江 純 大友黒主研究―『古今集』編纂時における黒主像―

渡邊 美里 葦手を和歌から考える―葦手で表現された和歌と和歌に詠み込まれた葦手について―

廣谷 京子 源具氏の和歌研究―具氏詠で使用される題材・語句の特徴と傾向―

〔藤沢ゼミ〕 近世文学

白鳥 花怜 月岡芳年『和漢百物語』考

太古 早紀 翻刻『虚空談』

西 優希奈 翻刻『怪談夜半鐘』

花村 美咲 近世文学における長崎・丸山遊郭

菱岡 妙子 一九の描く化物像

福原 葵 翻刻『こし路の章』

『宗祇諸国物語』考

細川 万衣花 『春色梅児誉美』における女性たちの

「主体性」

吉田 彩夏 写本『稻亭物怪録』は実録か―「稻生

物怪録」の変遷を踏まえて

〔柴ゼミ〕近現代文学 創作

大鷹 萌華 吉屋信子「人形の家」について―キャ

サリン・マンズフィールド“The

Dool's House”との比較を通じて―

表西 ひとみ メディアミックス作品における中原中

也のキャラクター像

国松 真祐 女性障がい者の「共棲」をめぐる―

ふたつの「ジョゼと虎と魚たち」―

高祖 ひづる 作家・尾崎豊論

佐々木 美佳 現代のジョバンニとカムパネルラ―引

用される「銀河鉄道の夜」―

〔原ゼミ〕近現代文学

五十嵐 万由 夢野久作「鉄鎚」論 描き出される人

間の本性―

服部 圭 「全身性の病、混合性の症状」―笹野

頼子「未閩病記―膠原病、「混合性結

合組織病」の」論―

〔藤井ゼミ〕民俗学 伝承文学

赤川 穂乃佳 福井県小浜市「八百比丘尼伝説」の研

究―出自と遠敷明神との関わり―

内田 早希 長崎県長崎市宮崎町「汚池姫伝説」の

研究―天草灘の文化交流―

〔鷹橋ゼミ〕中国文学 創作

江口 敷 見知らぬ国と人々について（創作）

森元 仁 『世説新語』に見られる機知表現につ

いて

〔光原ゼミ〕創作

安部 紗弥香 アルカナの茶会

石塚 春菜 夏の終わり

石原 遼一 目覚めた人

太田 かな ソラコ

樫山 奈由 きみとラベンダー

谷坂 利香 光さす庭

則直 真衣 最果て

山田 菜里奈 春の嵐

山水 結衣 さようなら、

中山 美紅 フォトグラフィス